

リベリア
ニンバ山脈地帯森林保全プロジェクト
現地からのお便り

2018年11月
コンサベーション・インターナショナル

3ヶ月に一度のトレーニング

Yolowee と Gbobayee の 24 人のフロントライン保護管を対象に「Survey 123 for ArcGIS」という調査の結果を GIS 上で収集・集計するアプリを使うためのトレーニングを行いました。トレーニングは、2日間にわたって、森林開発局の本部で行いました。



別の村のフロントライン保護官も一緒に記念撮影

フロントライン保護官によるパトロール

保全契約の重要な柱の一つが保全についての約束を守っているかの確認です。24日のフロントライン保護官が合計90回のパトロールを行い、見つめられた違反は密猟の1件だけでした。森林開発局に報告し、さらなる調査が行われ、密猟された動物が保護対象種であることが確認されました。

家畜飼育と野菜生産

コミュニティの生計向上のための農業支援も保全契約の柱です。豚の数は若干増減し、Gbobayeeで13匹、Yoloweeで22匹の合計35匹が飼育されています。訓練を受けた26人の世話人が豚小屋の管理を担っています。各村の状況を下の表にまとめます。

	世話人数	豚小屋の環境	子豚数	成熟豚数	合計豚数
Gbobayee	12	良好	7	6	13
Yolowee	14	良好	16	6	22
合計	26	--	23	12	35



Yolowee 村の豚小屋の中の様子



Gbobayee 村の豚小屋の中の様子

引き続き、野菜生産に取り組んでいます。畑の状況を表にまとめました。

村	面積	植えている作物
Gbobayee	2 エーカー (0.8 ヘクタール)	キャッサバ、サツマイモ、パパイヤ
Yolowee	1.5 エーカー (0.6 ヘクタール)	キャッサバ、サツマイモ、パパイヤ

キャッサバはよく育ち、1-2 ヶ月のうちに収穫できる見通しです。昨季には苗畑で育てていたパパイヤ（ポポー）の苗は畑に移植したのですが、暑さにやられて萎れてしまいました。

地元品種の苗に植え替えました。Yolowee では、サツマイモの葉っぱを豚の餌に利用し始めました。



Gbobayee のキャッサバ畑



Yolowee のキャッサバ畑

(全ての写真は、© Conservation International/Photo by Alison Miah)